

※ 医療費の領収書を入れる袋としてご利用ください

※ 確定申告書給与所得者の源泉徴収票等はこの袋に入れないでください

# 平成 26 年分 医療費の明細書

この明細書は申告書と一緒に提出してください

住所

氏名

※欄が不足する場合は医療を受けた人・病院ごとに集計して記載してください

医療を受けた人	続柄	病院・薬局などの 所在地・名称	控除の対象となる医療費の内訳		左のうち保険金などで 補てんされる金額
			治療内容・医薬品名など	支払った医療費	
(記入例) 安中太郎さんが花子さん(妻)の分の医療費もまとめて申告する場合					
安中 太郎	本人	Aクリニック	ほか 風邪 など	53,500	0
安中 花子	妻	B病院	手術(虫垂炎)	150,000	80,000
医療機関・症状が複数の場合はまとめてください			保険の特約・高額療養費などで補てんされた場合はその額を記入してください		
合 計				A	B

## 【控除額の計算】

支払った医療費	円	A
保険金などで補てんされる金額	円	B
差し引き金額 A-B	(赤字のときは0円) 円	C
所得金額の合計	円	D
D×0.05	円	E
100,000円とEのいずれか少ないほうの金額	円	F
C-F	(最高200万円) 円	医療費 控除額

申告書第二表の「○所得から差し引かれる金額に関する事項」欄の医療費控除に転記します。

申告書第一表の「所得金額」欄の合計を転記します  
(注) 次の場合には、それぞれ次の金額を加算します。  
・退職所得および山林所得がある場合…その所得金額  
・ほかに申告分離課税の所得がある場合…その所得金額  
(特別控除前の金額)

なお、損失申告の場合には、申告書第四表(損失申告用)の「4繰越損失を差し引く計算」欄 ⑧の金額を転記します。

申告書第一表の「所得から差し引かれる金額」欄の医療費控除に転記してください